



発行所
愛徳学園同窓会
神戸・垂水

会長挨拶



会長
石井アイリーニ・トクコ
(7回生・旧姓ヤング)

同窓生の皆様、お元気でお過ごしでしょうか。今年度の会報が皆様のお手元に届くのは二十四節気の『芒種』の頃でしょうか。総会は『穀雨』の頃でした。自然の変化を感じながら暮らす知恵として、季節の移ろいを細やかに表現する美しい暦、生活リズムに彩りを与えていますね。

さて、今年十九名の同窓生をお迎え致しました。皆様、学園の神の学びを身に付けられ、嬉しそうに次のステップを見据えて、しっかりと進まれています。

まず昨年度は学園への六〇〇万円の寄付のご報告をさせて頂きます。これは小学校の改装工事に伴い、図書室の本棚の一部に使われました。寄付にあたり賛否両論ありましたが、同窓会役員のみでは

決められず各回生の幹事の皆様方にも賛否を問いました。結果、勿論反対意見もございましたが、寄付の運びとなりました。子供たちが新しい図書室を築きそうに利用している姿をホームページでご覧になれます。同窓生の皆様方には書面でのご報告となりましたが、ありがとうございます。

二〇二五年度の同窓会の活動は四月の同窓会総会並びに大同窓会、六月の会報発行並びに修道院七十五周年閉幕ミサ、十一月学園祭への参加並びに出店、二月同窓会入会式、三月『あいつくEXPO2026』のお手伝い、四月の会計監査となっておりま。又『アメリカ基金』三〇五、〇〇〇円、学園への寄付四六一、〇〇〇円は理事長にお渡ししております。毎年にもかかわらず誠に有難うございます。今年も振込用紙を同封させて頂いております。少子化により児童数の減少に加速度が増しております。経済状況も厳しい状況でございますが、皆様のあたたかいご支援を、心よりお待ちしております。

最後になりましたが『同窓会』の今後のあり方について、皆様のご意見を伺っております。ホームページにお入りになり、QRコードのフォーム

を取り込み、ご意見をお寄せ下さい。

『あいつくEXPO2026』でのお手伝いでは愛徳の卒業生らしさが溢れ返り、シスターや先生方には大変感謝されました。目まぐるしく時が過ぎ去る中、学生時代にシスターや先生方より教わりました『女性としての教育』は褪せることなく皆様方の中で輝いていると深く感じました。神の声に耳を傾け、神の大きな導きの光が、今年もまた皆様方を照らして下さいますことを心より祈っております。

Todo por Amor

管区長挨拶



日本管区長
シスター 白濱光恵

愛徳学園同窓会の皆様、はじめまして。現在、日本管区の管区長を拝命しております。シスター白濱光恵です。どう

ぞよろしくお願致します。まずは、簡単に自己紹介をさせていただきます。私は日本で生まれ、12歳の時に家族とともにブラジルへ移住し、その後40年間をブラジルで過ごしてまいりました。21歳の時に修道生活への召命を感じ、愛徳カルメル修道会に入会いたしました。パラナ州マリノガの修道院において初誓願を立て、シスターとしての歩みを始めました。ブラジルではおよそ30年にわたり、貧しい地域での奉仕に携わり、多くの方々との出会いを通して、人として、またシスターとして成長させていただきました。当時を振り返るたびに、深い感謝の思いが湧き上がります。人生には、思いがけない出来事によって、新たな歩みへと導かれることがあるものです。私も決して若いとは言えない年齢において、全く予期していなかった日本への帰国を経験し、自分の存在が揺さぶられるような苦しみを味わいました。南米の大らかな風土に慣れ親しんでいた私にとって、日本の文化に再び馴染むことは決して容易ではありませんでした。年月を重ねる中で、日本管区の姉妹の一員として受け入れていただき、今日まで歩んでこられたことに、心より感謝しております。

愛徳学園の設立母体である私どもの修道会は、本年2月26日に創立200周年を迎えました。皆様もすでにご存じのことと思いますが、本会は1826年2月26日、スペインのバルセロナから約80キロ離れた古い町ヴィック（VIC）において創立されました。創立者は、最愛の夫に先立たれた43歳の女性、ホアキナ・デ・ベドウルナです。彼女は、バルセロナの裕福で敬虔なカトリック家庭に育ちました。信仰はホアキナの存在そのものを形づくるものであり、その生涯におけるさまざまな出来事を統合し、深い意味を与えていました。彼女の信仰は、揺るぎない落ち着きと堅固さの源である神への深い信頼、そして年を重ねるごとにいつそう豊かに育まれていった神と人々への愛によって表現されていきました。彼女は、修道生活を通して生涯を神に捧げ、同じ志を持つ姉妹たちとともに、神の栄光と隣人の善のために尽くすことを切望しました。そして長い準備の時を経て、自らがかつて幸せな家庭生活を営んだその家において、この修道会を創立しました。この家は現在も母院、すなわち起源の地として大切に守られており、今なお一つの共同体がそこで生活しています。

ホアキナは私たちにとって、はるか、遠い存在ではなく、人生のあらゆる境遇を現実にした女性です。人生の道を求める少女、愛し、愛される妻として夫と共に子供たちを生み育てる母、優しい祖母、夫に先立たれ、孤独、痛み、困難の中でさらに成熟し、修道会の創立までに導かれた強い、しかし同時に実に人間味の豊かな、信仰の女性です。創立者は、人との交わりを大切にし、手紙を頻繁にしたため、あらゆる手段を尽くして積極的にコミュニケーションを図る人でした。修道会創立の準備を進めるにあたっては、宗教者に限らず、男女を問わず同じ信仰をもつ人々の声に耳を傾け、その協力を得ながら、常に謙虚な姿勢で歩みを進めていきました。その後も、自分の子どもたち、とりわけ長男ホセ・ホアキンとその妻ロシタに宛てて、多くの手紙を残しています。電話やスマートフォンのない時代であったため、シスターたちへの書簡も数多く現存しており、現在邦訳されている書簡集には、170通余りを読むことができます。

今日の世界各地で奉仕する姉妹たちは、創立者の姓にちなみ「ベドウルナのシスター」として知られています。また、世界に約150ある教育機関は「ベドウルナ学園」「ベドウルナ学校」「ベドウルナ幼稚園」「ベドウルナ保育園」などの名称で親しまれ、医療施設においても同様に「ベドウルナ」の名が掲げられ、地域の人々に広く受け入れられています。本年、創立200周年を迎え、今もなお当時の姿をとどめるホアキナの家マンソ・エスコリアルにおいて、四大陸から集まった30名余りの「ベドウルナ・ファミリ」の代表姉妹たちは、これまでの200年の歩みに深い感謝を捧げるとともに、「新たに生まれる」という希望と確信のうちに、創立者のカリスマと霊性を生きた決意を新たにいたしました。

最後に、皆様に一冊の本を紹介させていただきます。創立者について、『家庭の母、そして修道女』をお読みになつていない方に、ぜひお勧めいたします。大変読みやすく、ホアキナをより身近に感じていただける本です。ご希望の方にお配りしていますので、どうぞ本部修道院の受付まで、ご連絡ください。

ベドウルナ愛徳カルメル修道会

中高校長挨拶



中高校長
松浦 直樹 先生

いつも愛徳学園の教育活動にご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年度も、これまで以上に同窓会の皆様とお会いする機会が増え、日々励ましのお言葉をいただきました。特に2回目の開催となった「あいとくEXPO2026」では、20名ほどの同窓生の皆様がボランティアスタッフとして参加してください、そのスピーディーかつ献身的な働きに胸を打たれました。

イベント後にはスリッパの裏を素早く丁寧に拭き、同窓会室でのミーティング中でも私がノックすると全員が起立して迎えてくださるなど、どれも感動という言葉では表現しきれない特別で美しい光景でした。これら「愛徳学園の勸め」は、すでに卒業した第102期全校委員がまとめた「残そう良い習慣」に引き継がれ、現代社会に合わせた形で今も大切に守られています。

目まぐるしく変わる情勢の中で、今年度も「変えてはならないもの」と「変わらなければならないもの」を自問しながら、教職員一同、手を携えて改革を進めてまいります。

■この一年の主な動きと結果について

【1】募集活動について

重点地域を設定し、運営委員全員で中学校や塾を訪問し、イベントや説明会のチラシを直接配布いたしました。近隣の重要校には管理職が直接相手校の管理職に手渡しなど、こちらの熱意を伝える方針を徹底しました。その結果、イベント来場者数は110人↓630人↓768人と、この3年で大きく増加しております。特に近隣の小学生が足を運んでくれる傾向が強まり、イベント↓説明会↓受験という流れを引き寄せたいところです。

ご来校いただいた方には最大級のホテルティをもちつてご案内し、少しずつではありますが結果につながっていると感じております。2026年度入試では、中学校は昨年度の大幅増に比べるべく減ですが、公立小学校からの専願受験者を12名確保し、2年連続で愛徳学園小学校卒より公立小学校卒の入学生が多い結果となりました。高校入試では受験者が2けたにのり、入学者も内部進学者数から増加いたしました。これにより、11年連続で減少していた中高の在籍者は、昨年度より増加となりました。

【2】今後の課題とお願い

来年度入試は、過去最少人数の現在の中3が内部進学する年度のため、相当厳しい状況が予想されます。この3年で培った広報活動をさらにブラッシュアップし、校務運営委員メンバーが募集委員会を兼任しながら、昨年以上に早

い段階から中学校訪問等を実施する予定です。

加えて、外部ブースや校内イベントにも、引き続き全教職員で力を合わせて取り組んでまいります。ただ、今年度は各部長の先生の担任兼務が昨年以上に増え、校務はぎりぎりの状態です。外部広報として、同窓会の皆様にもお力添えいただけるアイデアがありましたら、ぜひお知恵をお貸しください。

在校生の中には同窓生のお嬢様を含め、ご親族の方も多く、本当にありがたく、心強く感じております。ぜひ、お嬢様のおられる方は愛徳学園で学ばせていただきたくお願い申し上げます。現在の教育内容は他校と比較しても決して勝るとも劣らない内容となっており、紙面の都合上、すべてをお伝えすることはできませんが、教育内容についてお話しできる機会をお持ちいただければ幸いです。

■制服・給食などの改革について

盛夏服につきましては、昨年ようやく完成し、今年の夏より導入されます。「伝統の制服がなくなるのでは」とのご心配もあつたようですが、伝統の制服はそのまま、ラインナップを加え、着用のバリエーションが増えたところご理解ください。より機能的なスラックスの導入は必要不可欠でしたが、愛徳学園らしさが失われることはありませんのでご安心ください。

大きな変化として、選択制給食を導入いたしました。利用率は全体の60%以上で、教室では給食利用者とお弁当の生徒と一緒に談笑する姿が見られ、これもまた「現代の愛徳学園の微笑ましい姿」として定着してきています。

■学校目標について

着任以来、「笑顔」「挨拶」は必須項目として掲げてまいりましたが、毎年意識することと少しずつ形になっていると感じていますので、このままいっそう活気ある学園を目指してまいります。

また昨年はこれに「勇氣」を加えましたが、今年はさらに「希望」を加え、「希望と勇氣、笑顔と挨拶」といたしました。この4つのキーワードは、愛徳学園がこれからの時代に示すべき「生きる姿勢」そのものと認識しております。

2025年の聖年は今年1月に閉幕しましたが、この聖年によって蓄えられた「希望の種」がしっかりと実を結ぶよう、2026年を「希望の未来」への出発点と位置づけ、この目標を掲げました。この一年が、生徒も教職員も神様への信頼のうちに希望を語れる年となるよう、決意を新たにしております。

最後に、今年も同窓会の皆様ともしっかり協力し、これからの時代に必要なものは、すべて「愛徳学園にある」という自信をもって、教育活動に邁進する所存です。これから方も、愛徳学園に関わるすべての方々と共に、希望の未来を力強く切り拓いてまいります。

恩師だより

岡田 幸(旧姓松下)

60年前愛徳学園2年生として高等学校を卒業し、希望に満ちて大學生生活、語学学校への遊学を経て、愛徳学園の社会科の教師となり、6年間在職いたしました。当時は第2次世界大戦が終わり、経済発展が続く時代でした。その反面まだ「植民地」と言われる国々が残っていました。地球全体の平和と安定を願う風潮が強く、「明日は今日より絶対に良くなる」と明るい気持ちを感じられる日々でした。神戸には大きな地震は来ない、と言われていましたが、31年前に大震災が起きました。学園は大きな被害を受け、校舎や体育館等現在の様に生まれ変わりました。個人的には、地震の被害はほとんど無く、コーラスでボランティアをするグループに入り、老人ホームや給食会等でボランティアをしていきます。もう自分もすっかり老人になってしま

い、音符を見間違ったり、歌詞を覚えるのに時間が掛かったり。そろそろボランティアをするのではなくされる側に変わるべきかな、と迷っています。それにもう一つ、同窓会の相談役として、役員会のメンバーとして参加していること。上の回生も加わった方が良いとのことで、何かお役に立てたらとの思いで参加を決めました。実は若い方々がテキパキと進めて下さっている、足を引っ張らないよう注意しています。学園への坂道を登る時、体力の衰えをひしひしと感じますが、もう少しお役に立てるかも、と頑張ろうと思っています。

若い卒業生の皆様、お誘いがありましたら、お手伝いしようと思われましたら、同窓会の活動に是非ご参加お願い致します。

62回生入会のご挨拶

この度、同窓会に入会させていただきました。六十二回生、十九名です。

私たちは一人ひとりの個性を大切に、それぞれが想い描く夢に向かってコツコツと努力を重ねて自分らしさを表現することが出来る学年です。

愛徳学園で学んだ他者を思いやり行動する力や愛と奉仕の精神を忘れずに、同窓会会員として精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願致します。



同窓生だより



米田先生還暦祝い会&バレーボール部同窓会

35回生 森田 京子(旧姓 山形)

二〇二六年三月八日。春の光が差し込む体育館に、懐かしい声と笑いが重なり合いました。還暦を迎えられた米田俊彦先生をお祝いするため、三十一回生から四十二回生までの卒業生二十六名、現役生徒九名、そして卒業生の子どもたちを含む総勢五〇名以上が集結。関東から日帰りで駆けつけてくださった方の姿もあり、先生をお慕いする柔らかな空気が会場を満たしていました。

第一部は体育館でバレーボールを実施。今年五〇歳となる三十一回生の先輩方が誰よりも軽やかにコート駆け抜け、「ナイスサーブ!」「チャンス!」

と当時の掛け声が響いた瞬間、時が巻き戻ったかのようでした。三〇年経っても変わらない先輩後輩の関係性や、自然にじみ出る「愛徳生らしい心配りが随所に感じられ、胸が温かくなる場面が何度もありました。現役部員の皆さんとのラリーには、世代を越えて受け継がれてきた絆が確かに息づいていました。

第二部は同窓会室でのお祝い会。還暦のお祝いに米田先生へ赤いバレーボールポロシャツを贈呈しました。各学年から集めた五〇枚以上の学生時代の写真が壁一面に掲げられ、時代をつなぐスクリーンのように私たち

を迎え、入室した瞬間に胸が熱くなりました。

米田先生のご講話では、故・佐々木正良先生との思い出に触れながら、「頑張っても勝てずに泣いた日、震災で練習場所を失った時の工夫、コロナ禍での葛藤、そして仲間たちとたくさん笑い合った毎日。そのすべてが一本の線となり、愛徳学園とバレーボール部の歴史を紡いできた」と語られました。その言葉は、私たち自身の歩みをそっと照らす灯のようで、会場に静かな感動が広がりました。奥様の鶴田郁子先生から語られた当時のエピソードも相まって、世代を越えて心がひとつになる、かけがえのない時間となりました。

そして最後には、「また元気にコートを走り回ろう」と笑顔で約束を交わし、それぞれの未来へ向けて温かく背中を押されるような別れとなりました。



この会の開催にあたり、温かく支えてくださった松浦校長先生、木村美由紀先生、同窓会役員方々をはじめ、関係の皆様のお力添えに深く感謝申し上げます。

姉妹の店

22回生 高橋由起美(旧姓 垣内)
29回生 豊田 麻希(旧姓 垣内)

同窓生の皆様、シスター、先生方お元気でいらつしやいますでしょうか。

私たち姉妹は、愛徳で育んだ思いやりと誠実さを胸に、地元姫路で三代続く「姫路駅南人形のかきうち」を営んでおります。姫路駅南から徒歩五分、姫路南インターから北へ車で五分とアクセスも良く、年末には赤ちゃんの無事な成長を願う破魔弓や羽子板が店

内を華やかに彩ります。春の節句には優雅な雛人形が並び、続く五月には凛々しく輝く五月人形が店内をいつそう晴れやかにしてくれます。これらのお人形は、全国の職人のもとへ足を運び、心を込めて作られた品々を直接仕入れ、新しく生まれた赤ちゃんの健やかな成長を願いながら、姫路はもちろん阪神間や全国へも送料無料でお届けしております。



シーズンオフには、私は薬剤師として、妹は管理栄養士

としてそれぞれの専門職にも携わり、しなやかに人生を楽しみながら家業を支えております。日本の伝統を未来へつなぐこの仕事に、日々大きな喜びと誇りを感じております。

姫路へお越しの折や、お子様・お孫様のご誕生された際には、ぜひ「姫路駅南人形のかきうち」へお立ち寄りくださいませ。

東京OG会

東京OG会便り

二〇二五年一〇月四日、第二十一回東京OG会を有楽町国際フォーラムにて開催致しました。シスター三好を囲んで三回生から三十四回生まで二十八名のご出席でした。

思い起こせば四〇数年前には、東京国立、修道院に異動でおられたシスター堀井、中尾、樋口、三好の方々と同窓会名簿が存在していたのでご近所在住の方々にお声がけしてホームパーティーからのスタートでした。その後東京駅周辺のホテルで幹事は自然と順番で二回生から三回生へと十九回生まで引き継がれました。しかし、個人情報保護法により若い回生を把握できずに広がりも限界と世代交代の時期と受け止め一旦幕引きをする事になりました。神戸から離れた関東でも同じ愛徳学園の教育を受けた方々と回生を越えた親睦会でもあり、恩師のシスター方に感謝する集まりでした。四〇年間続けられたのも奇跡で、関わって下さった方々と神戸の同窓会のお助けのおかげと感謝しております。あらがとうございました。神に感謝。またいつか形を変えてどなたかが立ち上げてくださる事を願います。四回生 岡本真知子



十八回生の坂田弥生(旧姓新條)です

今まで東京OG会を支えてくださった皆様、本当にありがとうございました。終了とお聞きしたのですが、せっかく出会った方々とのご縁が途切れてしまう

のも寂しいと思い、十八回生の常連メンバーで新しい東京OG会(名称未定)を立ち上げることにしました。懇親会等、決定しましたら、お知らせしますので、

十八回生

齊藤(旧姓丸橋) 坂田

(旧姓新條) 兼松



愛徳カルメル修道会は 今年 創立200周年 を迎えました



聖ホアキナ・デ・ベドゥルナは1826年2月26日スペインのビック市に在るご自宅の建物を修道院として愛徳カルメル修道会を創立なさいました。



(学) 愛徳学園・同窓会の皆さま

2025年10月4日

✦ 主の慈しみは永遠

大きな行事であるAITOKUスポーツフェスティバルも無事に終えることができました。たくさんの方々にお越しいただき、園児・児童・生徒の活躍を見ていただくことができたことを嬉しく思っています。

このたびは、小学校の図書室改修のために多大なるご寄付を賜り、教職員一同心より感謝申し上げます。9月中旬に、テーブル・イス等の備品も搬入され新しい図書室が完成いたしました。HP、Instagramに児童たちが新しくなった図書室を利用している様子をアップしておりますのでご覧いただければ嬉しく思います。今後とも充実した学びの場を設けていけるように努力いたしたいと思っております。

重ねてお礼申し上げますとともに、今後ともご支援ご協力をどうぞよろしくお願い致します。

感謝と祈りを込めて

(学) 愛徳学園 理事長 上田還子

昨年、小学校の図書室改修費用の一部を同窓会から寄付させていただきました。学園理事長よりお礼状が届いております。

同窓会の今後のあり方について同窓生全員を対象に広くご意見を頂きたいと思います。右のQRコードのフォームよりご意見をお寄せください。



愛

徳

学

園

の

今

～「DXハイスクール重点類型グローバル型」採択校としての歩みとこれから～

愛徳学園高等学校は、昨年度に引き続き「DX加速化推進事業（DXハイスクール）重点類型グローバル型」に、全国でわずか20校の中の1校として、そして兵庫県では唯一採択されました。「ICTを活用した文理横断的・探究的な学びを強化する学校などに対して、そのために必要な環境整備の経費を支援する」（文部科学省Webサイトより引用）という国の事業によって、本校の教育環境やグローバル教育の内容は大きく進化しました。さらに令和8年度は、ハード面ではデジタル絵本制作のための録音・録画機器の充実、ソフト面では企業や大学との連携の強化や海外交流の拡大を目指します。本校の施設や授業はいつでも見学可能です。ぜひお越しいただき、実際の取り組みの様子をご覧ください。

【高3 Book Project (選択科目Global Studies)】

◇ 61回生が制作した絵本をカンボジアのプロン小学校へ



◇ 「全国高校生フォーラム」に高3の2名が参加し、「Book Project」について英語で発表。

(2025年12月21日
国立オリンピック記念
青少年総合センター)



【ICT教育で地域貢献(プログラミング用ドローン・ハイスペックPC・3Dプリンター等を配備)】



地域の小学生対象
「プログラミング教室」



ハイスペックPC



3Dプリンター



2025年度 62回生合格状況

国公立大		神戸女学院大	1
神戸市外国語大	1	神戸女子大	2
私立大		武庫川女子大	2
立命館大	2	流通科学大	1
龍谷大	3	専門学校	
同志社女子大	1	明石医療センター	1
関西看護医療大	2	附属看護専門学校	
関西学院大	6	神戸市医師会看護専門学校	1
甲南女子大	3	神戸ベルエール美容専門学校	1

学園職員の退職

2025年度3月退職 (中高)

西村三千恵

米田 俊彦 (2026年4月より常勤嘱託として勤務)

松森 裕美 (2026年4月より常勤嘱託として勤務)

渡辺 知美

山田 友紀

大井 遥

大東 裕子

山中 啓子 (2026年4月から非常勤として勤務)

長谷川美保 (事務職員)

2026年度 愛徳学園幼・小・中・高 行事

【幼・小・中・高】

9月17日(木) 幼小中高合同体育大会(グリーンアリーナ神戸)

【小学校】

〈学校説明会〉

4月25日(土) 6月27日(土)
11月7日(土) 2月6日(土)

〈イベント〉

5月9日(土) ミュージックフェス
7月18日(土) 夕涼み会
10月28日(水) ハロウィンパーティー

2027年

1月22日(金) ウィンタースターアドベンチャー
2月6日(土) 親子deクッキング
3月13日(土) 授業体験

〈公開行事〉

5月27日(水) 聖母の集い
11月21日(土) 学習発表会
12月16日(水) クリスマス会
2027年
2月25日(木) 感謝ミサ

〈入試日〉

9月5日(土)A日程 9月9日(水)B日程
12月12日(土)C日程
2027年
1月16日(土)D日程

【中・高】

〈入試関係〉

6月6日(土) 学校説明会
8月22日(土) 午前：中学校オープンスクール
午後：高校オープンスクール
9月26日(土) 学校説明会
10月17日(土) 高校入試説明会

その他、授業日の土曜日には学校見学会、10月～12月の金曜日にはナイト説明会を行います。詳しくは、学校Webサイトでご確認ください。

〈公開行事〉

7月15日(水) 合唱コンクール
11月3日(火・祝) 学園祭

12月17日(木) グローバルフェスティバル
12月19日(土) クリスマスミサ



愛徳学園中高等学校のFacebook、Instagramもご覧ください。



愛徳カルメル修道会のFacebookもご覧ください。



『神戸のふるさと納税』のサイトから、愛徳学園高等学校を選んで応援することができます。同窓会のHPからもご案内しておりますので、是非ご一読ください。

2026年度 役員・各回生幹事

回生	正副	氏 名	旧姓
1	正副	福田 淑江 高島 二宮 知 中村	
2	正副	橋本 惟子 小西 岡田 幸 松下	
3	正副	松井富砂子 西田 金盛八重子 大西	
4	正副	横山 佳子 川江 小池 悦子 多田	
5	正副	井納れい子 大矢 高橋あつ子 新原	
6	正副	平木 裕子 西海 早瀬 敏子 浜岸	
7	正副	内藤ひとみ 菅原 宮永 恵子	
8	正副	岡本美知子 小山 中西奈緒美 中尾	
9	正副	石川 恭美 柴田 田中 和子 山根	
10	正副	秋田 京子 正 大西 周子 浦敷	
11			
12	正副	喜多 和子 喜多 松崎 順子 牛田	

回生	正副	氏 名	旧姓
13	正副	田付万里子 高木 葉子	
14	正副	萬井智恵子 川元 片山 朋子 川上	
15	正副	清水真理子 郡山 米田 郁子 鶴田	
16	正副	加藤 美紀 中津 聖子 佐野	
17	正副	三原 容子 三井 敬子	
18	正副	有元 裕香 西河智佐子	
19	正副	宝生 多美 坂口 小西 孝子 村上	
20	正副	大島 ゆか 藪口 佳子 大村	
21	正副	牛田 幸子 安保 高尾 貴淑 釜江	
22	正副	大西 麻美 竹澤 幸子 竹澤	
23	正副	市榮 玲子 駒津 松崎 裕子 上野	
24	正副	河原 絵美	

回生	正副	氏 名	旧姓
25	正副	巨勢 佳美 桂木 朋子	
26	正副	中田 洋子 福光 中村加奈子 西永	
27			
28	正	森 倫子 大石	
29			
30	正副	名村 千晃 松井 仲東 智子 永山	
31	正副	今石 陽子 丸山こずえ 伊藤	
32			
33	正副	浅見 彩子 梶村 杏子	
34	正副	竹内 尚美 有馬 米谷 千紗 松井	
35	正副	真弓 佳子 森田 恭子 山縣	
36	正副	西原 綾子 三平 横山 明里 谷口	
37	正副	大場 久子 木村美由紀 立石絵美里 山田	

回生	正副	氏 名	旧姓
38	正副	宗和 宏美 吉川 真奈	
39	正副	大和 恵美 星川 西川 可恵	
40	正副	内山 百合 鈴木 亜紀 佐藤沙弥子	
41	正副	新田 麻衣 中垣 友里	
42	正副	藤瀬 弥生 福廣 松田加奈子	
43	正副	井ノ上未紗 太田 裕貴 坂本華菜恵 橋本	
44			
45	正副	近藤 祐子 田中 原 綾香	
46			
47	正副	樽屋 瞳子 永田 幸恵	
48	正副	山登 有花 小川裕佳子	

回生	正副	氏 名	旧姓
49	正副	野津 楓 倉垣 西河内悠華	
50			
51	正副	福田 巴優 原 七菜子	
52			
53			
54	正	岩寄 沙耶	
55			
56	正副	黒木 彩華 小林 瑞希	
57			
58			
59			
60	正副	井上 朋美 井門優依花 牛島 寿梨	
61	正副	梶川 紗愛 正 永野 めぐ 副 永野 まな	
62	正副	橋本 夢叶 井上 柚杏 高橋 珠里	

2026年度 役員

役 職	回生	氏 名
会 長	7	石井アイリーニ・トクコ
副 会 長	7	北本 雅子
	16	加藤 美紀
会 報	8	岡本美知子
	12	胡谷 郁子
総 務	22	宰川 雅子
	23	市榮 玲子
書 記	23	長田 純子
	26	中村加奈子
会 計	45	近藤 祐子
	45	原 綾香
会計監査	13	吉村 朋子
	23	長田 純子
理 事	6	山野真実子
相 談 役	2	岡田 幸
	5	高橋あつ子

2026年度 Support Team

代 表	22	吉田 由紀
-----	----	-------

幹事、氏名欄が空白の回生は正副幹事が不明です

役員会より

1.

名前や住所の変更は同窓会のホームページの『住所 / 名前 変更申請』より行ってください。名前・住所の管理は、株式会社サラト様へ委託しておりますので、同窓会では都度の把握はいたしていません。正副幹事の方に関する変更につきましては、同じくホームページの『正副幹事交代申請』からも併せてお願いいたします。

2.

同窓会には電話はございません。学園への電話連絡はお控えください。また**同窓会からお電話をすることはございません。**同窓会から幹事の方への個々のお知らせにはEメールを利用しております。幹事の方は連絡の取れるメールアドレスを同窓会までお知らせください。

3.

同窓会へのご連絡、同窓会からのお知らせ等、ホームページよりお願いいたします。ホームページは「愛徳学園同窓会」で検索できます。

4.

同窓生名簿の貸し出し及び印刷は一切行っておりません。閲覧は正副幹事の方のみ、同窓会室にて役員同席のもと、可能です。事前に同窓会までお問合せください。

5.

会報には、会報以外の印刷物の同封が可能です。サイズは長3封筒に入る大きさの物までです。そのまま同封できる状態でご準備ください。封入にかかる費用はご負担頂きますのでご了承ください。(ハガキ・封書など形態にかかわらず1部／1円：株式会社サラトに準ずる)
*同封希望の際は、必ず事前に同窓会へご連絡ください。

同窓会の店



同窓生の皆さまいかがお過ごしでしょうか？
昨年十一月一日、学園祭で「同窓会の店」を出店いたしました。お店では、同窓生の方々からお寄せ頂いた手作りの品物を販売いたしました。シスター、先生方、中高生、小学生の子供達と沢山来られ笑顔あふれる一日となりました。
この日の為に協力下さった皆さま、心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

◆ あとがき

世界では争いごと、災害が起きておりますが、私どもは今年も会報を皆様のもとにお届けできることに感謝しております。
発刊に当たりご協力下さった方々に心よりお礼申し上げます。

2025年度 会計報告

自 2025年 4 月 1 日～至 2026年 3 月 31 日

収 入 の 部 (円)		支 出 の 部 (円)	
科 目	金 額	科 目	金 額
前 年 度 繰 越 金	15,546,341	通 信 費	225,875
62回生終身会費及び入会金	665,000	印 刷 費	559,334
学 園 祭 売 上 金	170,750	慶 弔 費	36,668
受 取 利 息	6,096	会 議 費	4,974
ゆうちょ銀行定期利子定期へ	0	事 務 消 耗 品 費	8,470
ゆうちょ銀行定期利子一般会計へ	0	接 待 交 際 費	52,988
雑 収 入 (物 販 売 上 等)	28,600	同 窓 会 設 備 費	120,000
大 同 窓 会 関 連 収 入	525,250	雑 費	45,060
寄 付 金	7,674	大 同 窓 会 関 連 費	642,507
		租 税 公 課	927
		特 別 支 出	6,000,000
		次 年 度 繰 越 金	9,252,908
合 計	16,949,711	合 計	16,949,711

前年度繰越金内訳 (円)		次年度繰越金内訳 (円)	
現 金	38,017	現 金	42,539
普通預金(ゆうちょ銀行)	1,437,091	普通預金(ゆうちょ銀行)	1,158,499
定期預金(みなど銀行)	1,791,233	定期預金(みなど銀行)	1,791,870
定額預金(ゆうちょ銀行)	12,280,000	定額預金(ゆうちょ銀行)	6,260,000
合 計	15,546,341	合 計	9,252,908

上記の通り会計報告をいたします。

2026年 4 月 3 日

愛徳学園同窓会

会長 石井 アイリーニ・トクコ
会計 近藤 祐子 原 綾香

愛徳学園同窓会 2025年度会計報告並びに関係書類を監査した結果、
正確かつ適正であることを確認いたしました。

2026年 4 月 3 日

愛徳学園同窓会

会計監査 長田 純子 吉村 朋子

同窓会設立60周年記念大同窓会収支報告 (2025年 4 月 27 日開催)

収 入 の 部		
科 目	金 額 (円)	備 考
準 備 金	800,000	同窓会会計より
会 費	401,000	
お 祝 い 金	10,000	
同 窓 会 へ の 寄 付	55,000	会場内設置の募金箱より
同 窓 会 の 店 売 上	45,150	
そ の 他	14,100	会終了後の販売品売り上げなど
合 計	1,325,250	

支 出 の 部		
科 目	金 額 (円)	備 考
飲 食 費	338,373	お弁当、お茶、お菓子など
慶 弔 費	22,000	舞台上スタンド花
接 待 交 際 費	241,600	ノベルティ、お土産、お車代など
事 務 消 耗 品 費	12,134	画用紙、模造紙、ペン類、紙コップ、ゴミ袋など
そ の 他	28,400	
同 窓 会 会 計 へ 戻 し 入 れ	682,743	
合 計	1,325,250	

学園への寄付

2025年度 ¥461,000

2026年 4 月 19 日理事長に目録をお渡しいたしました。

アメリカ基金

2025年度 ¥305,000

皆様ご協力ありがとうございました。

連絡先：〒655-0037
神戸市垂水区歌敷山 3 丁目 6 - 49 愛徳学園内
愛徳学園同窓会

メール：aitokudousoukai@coast.ocn.ne.jp
同窓会ホームページ：https://dousoukai.site/aitoku/

